

令和五年度

甲府市立笛南中学校

式 辞

やわらかな日差しを浴びて花々が鮮やかに咲き始め、春の訪れが感じられるようになりました。

桜の蕾が膨らみ始めた本日、甲府市並びに甲府市教育委員会を代表して教育長職務代理者 市川修策様をはじめ、学校運営協議会委員の皆様のご臨席と保護者の皆様のご出席を賜り、令和五年度甲府市立笛南中学校の卒業証授与式が挙行できましたことを心から厚く感謝申し上げます。

希望溢れる佳き日に卒業を迎える卒業生の皆さん、ご卒業おめでとございます。ただいま卒業証書を無事お渡ししました。この卒業証書には中学校の卒業だけでなく、義務教育九年間を終了した意味も込められていま

す。来年度からは、自分自身が選んだ新たな人生のスタートを切ることになります。まだ見ぬ未知の環境や人との関わりに大きな期待と少しの不安が心の中に渦巻いているのではないのでしょうか。

今年度は、コロナウイルス感染症が5類となり、制限の無い学校生活が戻ってきました。活動の中で、徐々に外されてきたマスクのない笑顔が、コロナ禍から解放された生活を喜びとともに印象づけます。

とはいうものの、制限のある中学校生活を二年間過ごしてきた皆さんは今までを知らない状態であり、最上級生として下級生をリードしていくことに戸惑いを感じていたのではないのでしょうか。しかし、令和五年度生徒会テーマ「ブロック」はまさに伝統を引き継ぎながら新しいことに挑戦するための戸惑いを払拭するにふさわしいテーマでした。【課題を集める】、

【課題を解決・改善し、活動をつくる】、そして【活動を組み立て新しい文化・歴史を創り上げる】日々の委員会活動や朝集会はもちろん、桑葉祭で披露した一つ一つの発表は、新しい笛南中の創造物です。三年生一人一人がテーマをしっかりと胸に刻み、最上級生として取り組んできた足跡は、これからも笛南中学校の新しい文化・歴史として引き継がれていくでしょう。

さて、緊迫する世界情勢の中、急速に変化する社会は多様性を求めながら、複雑で予測困難な時代へと突き進んでいきます。その中を生き抜いていかなければならない皆さん、笛南中で学んだ『先言後礼』や『原稿を見ない発表の姿勢』は、これからの社会において、あなた自身の財産として必ず役立つものです。取り組んできたときの気持ちを忘れずに社会の荒波を乗り切ってください。また、始業式の最初に『視点を変えてものを見る』という話をしました。AIの発達やICT機器の普及に伴いこれからは多様な発想が求められるでしょう。一つの考えだけに固執するのではなく、色々な角度から視点を変えてものを見て考えることが必要になります。『視点を変える』柔軟な発想をもってください。

最後に皆さんに覚えておいてもらいたい法則をお伝えします。

一つ目は、『**青空は繋がっている**』の法則です。これからの人生の中では困難なことが立ち塞がったり、辛い思いをしたりする 때가訪れるでしょう。そんなとき『青空を見上げてみましょう』その青空の下には、笛南中で過ごしてきた仲間が一生懸命に頑張り、いつでも互いにエールを贈っています。どんなに離れていても青空は繋がっている。青空を見上げ、仲間

の頑張りを想いながら、自分の頑張りとして乗り切ってください。

二つ目は、『道は繋がっている』の法則です。これからの人生の中で新たな進路を考えるとき、どこに向かっていったらよいのか悩むことがあるでしょう。そんなときは、目の前にある道の先を見つめてみましょう。そこには大きな翼を広げた出会いがあなたの歩みを待っています。道はどこにでも繋がっている。自分を信じ、大きな翼が導いてくれる道を歩み続けてください。

保護者の皆様、本日は誠におめでとうござります。教職員一同、子供から大人へと身体と心に変化する大切な時期に少しでも手助けができるよう一緒に生活してきました。日々変化していくお子様の成長を嬉しく感じながら寄り添ってきたので別れを寂しく感じますが、これからもお子様が健やかにたくましく成長されますよう全員でお祈り申し上げます。

来賓の皆様には、ご多用の中ご臨席を賜り心からお礼申し上げます。また、これまで本校の教育活動に賜りましたご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、いよいよお別れです。新たな出会いのための旅立ち、別れを喜びに変え歩み出しましょう。皆さんの将来が素晴らしいものになることをお祈りして、式辞とします。

令和6年 3月11日

甲府市立笛南中学校
校長 七澤 聡